

アンケート事業の報告

横須賀市PTA協議会

会長 根本 宗茂

事業委員会 委員長 阿部 敏博

1)回収数等の報告

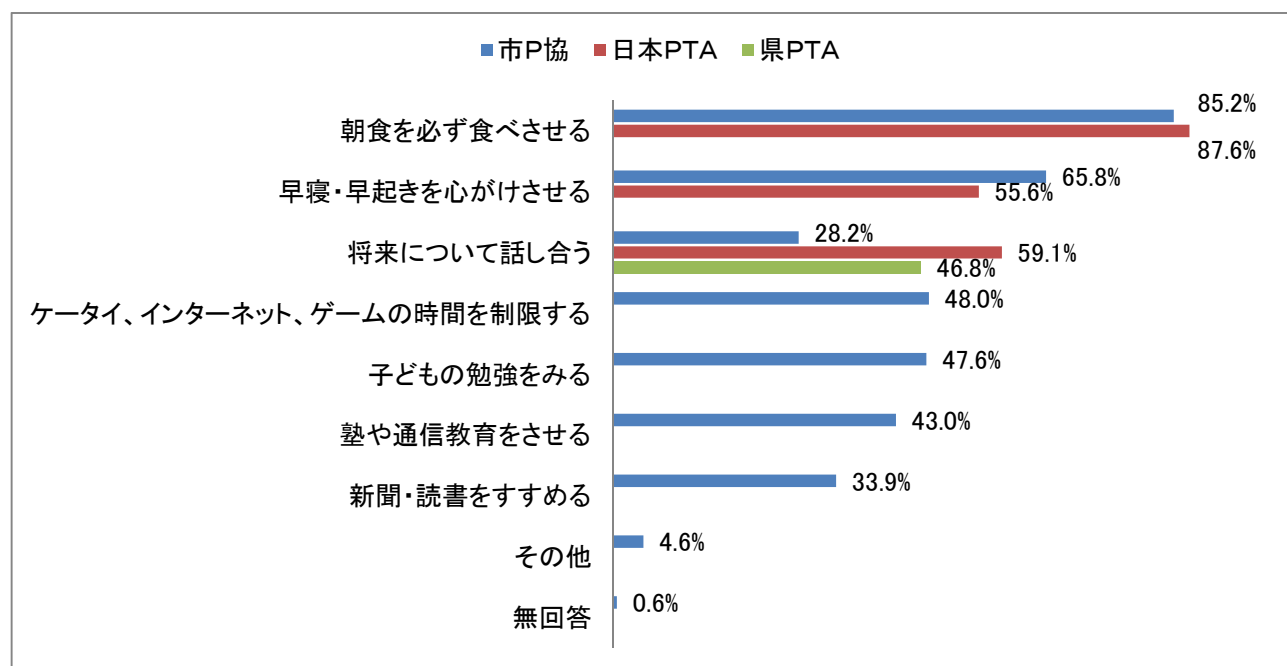
クラス			児童		
全クラス数	回収数	回収率	全児童数	回収数	回収率
106	106	100%	3,483	3,006	86%

全

児童数については、各担任が封筒に記入したクラス児童数の合計。

2)家庭教育について

■ 設問4 学力向上に関わることで家庭で取り組んでいることは？

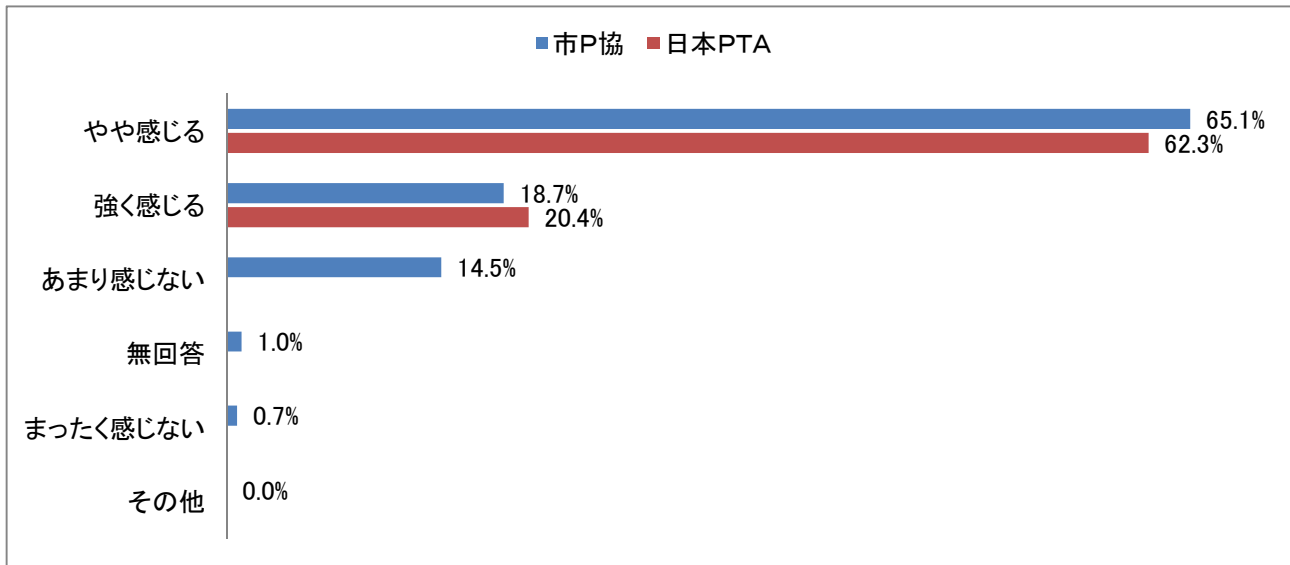


※将来について話し合う機会が少ない。具体的な目標を持っている方が学習意欲向上につながっていくのではないかと。

市教委コメント

将来に対する具体的な目標をもつことで、学習や生活に対する姿勢が変わってきます。中学生対象のある調査の「どんな時に学習に対してやる気がでるか」という設問に対して、約9割の子どもが、「将来つきたい職業に関心を持ったとき」と回答しています。小学校では、その“種”をたくさん植えておくことが大切です。子どもとコミュニケーションを図るという点でも、各家庭で、将来の夢や目標について話題にしていきたいと思えます。

■設問6 「家庭で躰ができていない保護者が増えている」との声を聞くことができますが、どのように感じますか。

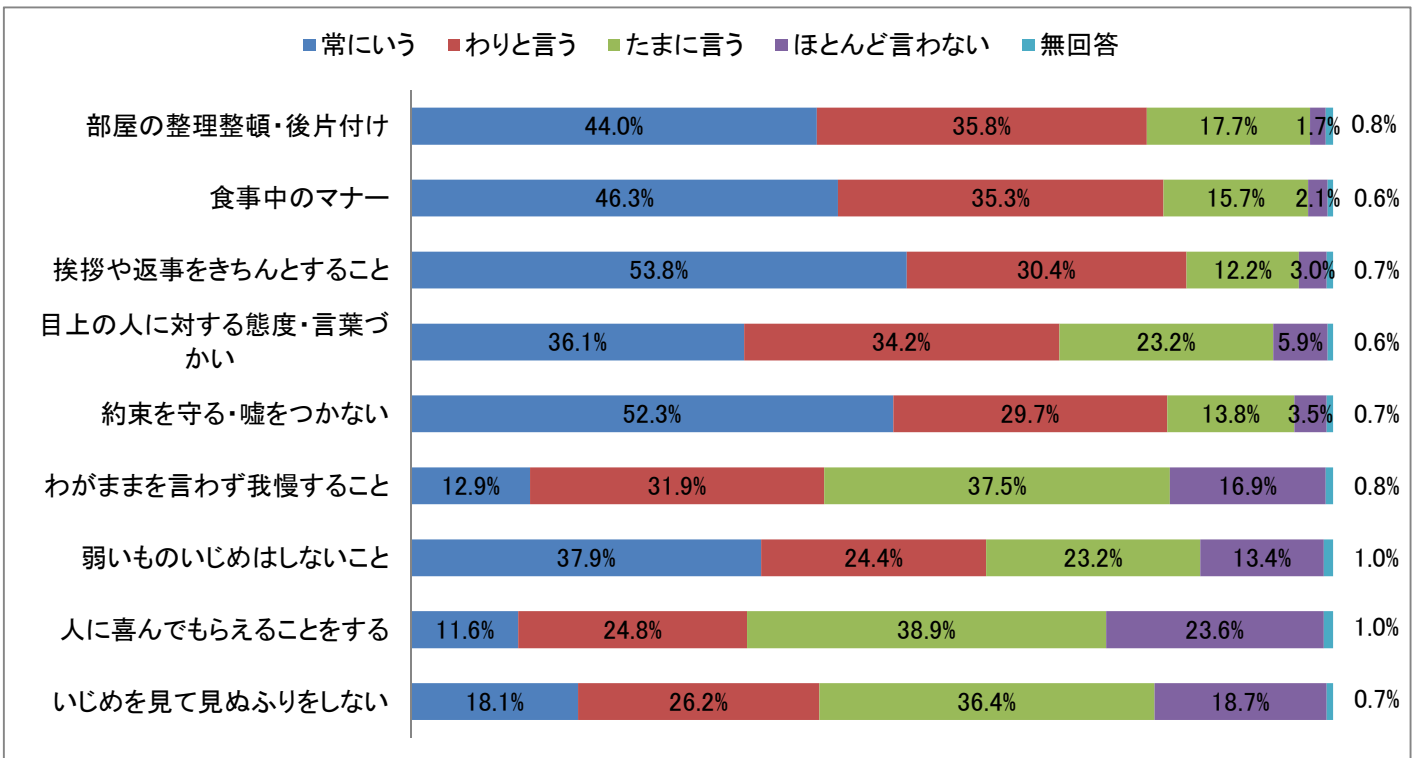


※強く感じる・やや感じるの合計が市P83.8%、日P82.7%となっており、共通の認識として捉えることができる。

市教委コメント

基本的な生活能力、人間関係調整能力やコミュニケーション能力、命の尊さに関わるような善悪の判断力などを養う根源の場が家庭です。しつけについては、「三つ子の魂百まで」などと幼児期の重要性について言われていますが、小学校段階においても遅すぎることはありません。保護者にとっては、永遠に追究していくテーマとも言えます。本アンケート結果を踏まえ、各家庭で“躰”について見直す機会となることを願っています。

■設問7 家庭での躰として下記の内容について、それぞれ1つ選んで○をつけて下さい。



上記データは市P協の回答のみ

	市P	日P
弱いものいじめはしないこと【常に言う】	37.9%	56.8%
弱いものいじめはしないこと【割りと言う】	24.4%	28.5%
合 計	62.3%	85.3%

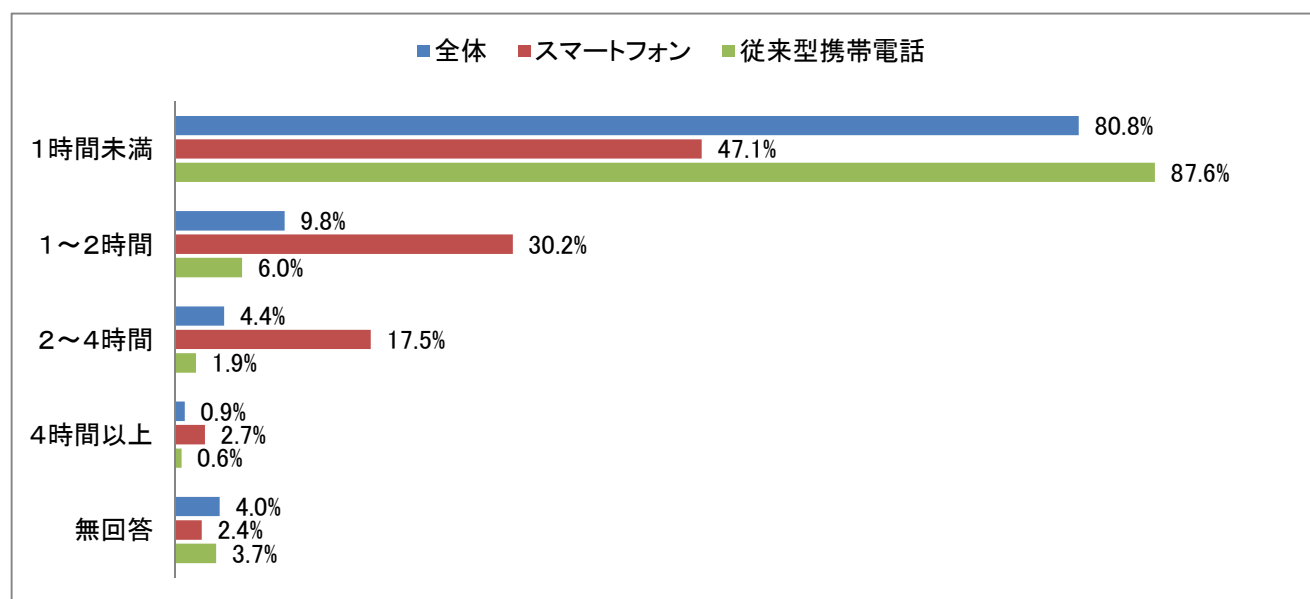
※常に言う・割と言う、の合計が市P 62.3%、日P 85.3%となっており、大きな開きがある。また、「いじめを見て見ぬふりをしない」という質問は、常に言う 18.1%、割と言う 26.2%、合計 44.3%となっている。いじめは悪いことという認識を持ち、自分がやらない、他人にやらせないように伝えていくべきではないか。

市教委コメント

「いじめ」や「差別」に対する認識は、理念だけにとどまらず、日常的に具体的な場面を捉えて、その善悪を教えていくことが必要です。その際には、「してはいけない」「だめ」という否定的な指摘だけではなく、正義や正しい行動をきちんと指摘・評価することも大切です。保護者として、「いじめ」や「差別」に対するアンテナを敏感にし、子どもたちが正しい認識をもてるような働きかけを行っていただきたいと思えます。

3) ケータイ・インターネットについて

■ 設問6 一日の使用時間について



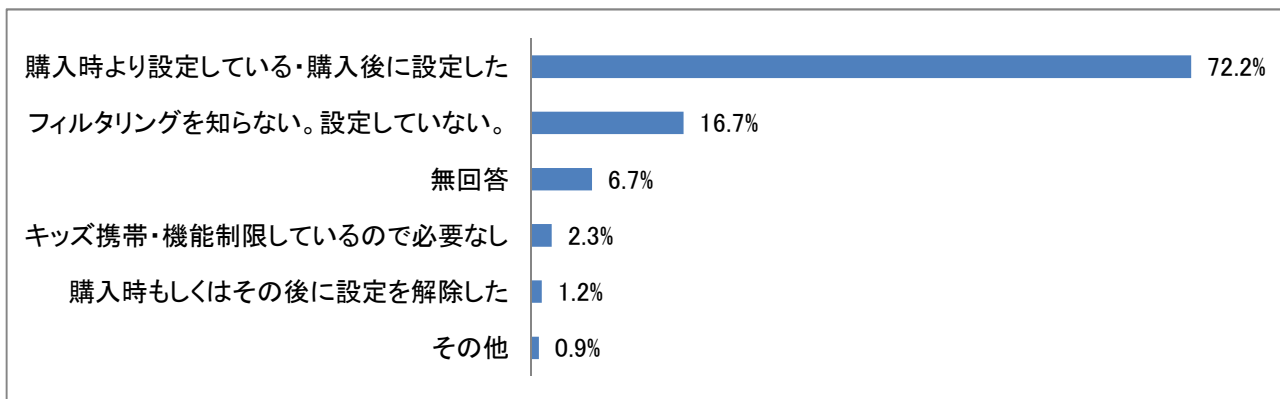
上記データは市P協の回答のみ

※スマホになると使用時間が長くなる。リスクが増える、生活が乱れる等の弊害があるので、ルールを決め守らせることが重要ではないか。

市教委コメント

従来型携帯電話よりスマートフォンのほうが一日の使用時間が長くなる傾向があります。これは、従来型の携帯電話に比べてスマートフォンは、電話やメール以外にも使える機能が多く、その結果、使用時間が長くなるのではないかと考えられます。使用時間が長くなると、生活習慣の乱れにつながったり、様々なトラブルに巻き込まれたりする可能性も高くなることから、使用時間を制限する等の対策が必要になってきます。

・設問8 フィルタリングを設定していますか？



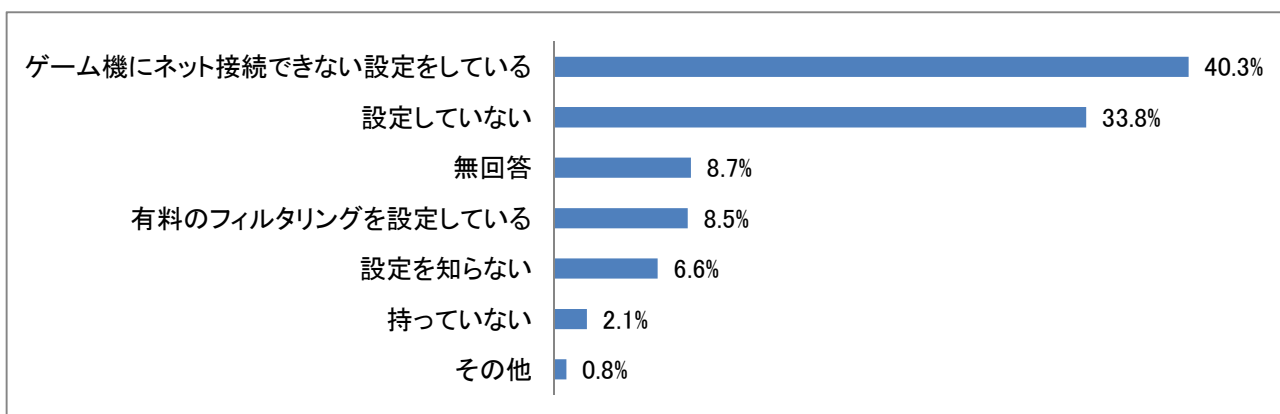
上記データは市P協の回答のみ

※設定をしていないが16.7%となっている。子どもを守るために必ず設定することが必要ではないか。

◆市教委コメント

コミュニティサイトの利用を通じて被害を受けた青少年のうち、9割以上がフィルタリング未加入である(警察庁「コミュニティサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果について」より)ことから、フィルタリングは必ず設定していただきたいと考えます。また、タブレット型携帯端末や携帯音楽プレーヤーの中には、インターネットに接続してスマートフォンと同じようなサービスを利用できるものもあります。お子様の安全を守るためにも、フィルタリングや閲覧制限・課金制限など、ペアレンタルコントロール機能を積極的に活用していただきたいと思います。

・設問11 ゲーム機のインターネット機能使用制限について



上記データは市P協の回答のみ

※40%の方が設定をしていない、設定を知らないと回答されている。ゲーム機においても必ず設定することが必要。

◆市教委コメント

「ゲーム機にネット接続できない設定をしていない」33.8%、「設定を知らない」6.6%という結果から、ゲーム機のインターネット機能使用制限率が低いことがわかります。特に小学生は、ゲーム機からインターネット機能を使用することが多いので、ゲーム機においても使用制限やルールを決めるなどする必要があると思います

4)総括

家庭教育については、「家庭での躰が出来ていない」と感じている保護者が多いことから、社会生活をおくる上での常識やモラルなど、子どもと話し合えているかどうか、改めて確認する機会ではないかと考えます。また、「いじめ」に関して、「いじめ防止対策推進法」が施行され、学校でもその防止に向けて力をいれているなかで、家庭においても、「絶対にしてはいけない」、「見てみぬふりをしない」といった道徳観を、子どもと共有していくことが非常に大切なことではないでしょうか。

学力向上においては、夢や希望に対する目標設定の有無が学習意欲に深く関わることから、将来についてしっかりと話し合う機会を増やしていくことが大切だと考えます。

ケータイ・インターネットについては、一日の使用時間の中で、従来型ケータイとスマートフォンとのクロス集計の結果、スマートフォンの使用時間が長時間になる傾向がはっきりとしたことで、健全な生活に悪影響を及ぼすとともに、学力低下の可能性を指摘することができます。合わせて、フィルタリングを設定していない約17%が危険と隣り合わせになっていると言っても過言ではないでしょう。ゲーム機のフィルタリング未設定40%も含めて、子どもが同年代の友だち以外に不特定多数の知り合いを持ち、接触することに怖さを感じ、危険を未然に防げるよう、保護者の責任として子どもを守っていきましょう。

共通して大切なことは、「親の責任」と「親子のコミュニケーション」だと考えます。

結びとなりますが、このアンケート事業に対し、多大なるご協力をいただきました横須賀市教育委員会・小学校校長会・各学校・各単Pの皆様、回答にご協力いただいた保護者の皆様に感謝を申し上げ、アンケート事業の総括とさせていただきます。

以上

参考資料 H24年度日本PTAアンケート・H23年度県PTAアンケート